

第71号 メールマガジン 水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

賀茂

伊豆縦貫道建設発生土の搬入が始まりました 高収益作物転換型「竹麻地区」

南伊豆町にある竹麻地区では、約6haの休耕田に伊豆縦貫道の建設発生土を受け入れて、樹園地への転換事業を行っています。

完成後は、地区内のほぼ全ての農地を1つの農業法人が借受け、レモンを生産する予定です。

現在、県営事業においては、R5繰越及びR6当初予算にて、流末排水路L=188mを整備しました。

また、国土交通省においては、国道から大型車で土砂を搬入するため、二級河川「鯉名川」に仮設橋を掛け、建設発生土5,000m³を搬入しました。

建設発生土は、R6～8の3年間で、合計93,000m³を受入れる計画であり、伊豆縦貫道工事の進捗にも、大きく寄与しています。



流末排水路



仮設橋

賀茂農林事務所農村計画課 0558-24-2080

賀茂

水管理省力化に向けて遠隔水管理システムを試験導入



松崎町の石部棚田で棚田オーナー制度や景観保全活動に取り組む「石部棚田振興協議会」では、水の見回りが大きな負担となっていました。

そこで、遠隔水管理システムを試験的に導入し、情報通信技術を活用するための電波調査や機器選定等の検討を本年度開始しました。

3月4日（火）には、情報通信技術の導入支援を行っているパブリック設計(株)や、機器メーカー2社（(株)farmo、(株)笑農和）が水位センサーの設置方法やデータの確認方法を、同協議会メンバーに指導しました。

今後、水位センサー20基と自動給水栓1基を棚田各所に設置し、水管理の時間をどれだけ削減できるか調査します。

賀茂農林事務所では、情報通信機器の本格導入に向けて、用水施設整備の必要性もあわせて検討していきます。

賀茂農林事務所農村計画課 0558-24-2080

富士

江尾地区でお茶の植栽が行われました！

富士市の畑地帯総合整備事業江尾地区において、今年度の施工により大区画の茶畑が2面（1.6ha）完成しました。

2月18日（火）、担い手農家約20名が参加し、地区として初めてお茶の植栽が行われました。

江尾地区は傾斜地の茶園地帯であり、昭和40年代には農道や排水路が整備されましたが、農家の高齢化に伴い、傾斜地での作業が困難となり、荒廃農地が多数見られるようになりました。

これらの問題を解消するため、富士農林事務所では、大規模で効率的な営農を可能とする茶畑（17.2ha）を整備するとともに、地域の担い手への農地の集積・集約を進めています。



富士農林事務所農地整備課 0545-65-2359

中部

松野地区で基盤整備事業の地元説明会を実施

静岡市葵区の松野地区では、基盤整備事業を進めるため、2月13日（木）に地元の茶生産者や部農会長、地権者等で構成する「松野地区基盤整備事業推進委員会」が設立されました。

2月22日（土）には、推進委員会と中部農林事務所より、事業計画場所の地権者や関係者、約40名を対象に基盤整備事業の説明会を実施しました。

他地区の基盤整備事業の様子を紹介し、基盤整備の効果や道筋について説明をしました。

参加者からは活発な質問や前向きな意見があり、基盤整備事業に関心が高い様子がうかがえました。

中部農林事務所では引き続き、事業化に向け推進委員会と連携していきます。



中部農林事務所農村計画課 054-286-9269

志太

朝生原地区でお茶の苗を定植！

牧之原市朝生原地区の茶園では、令和2年度から農業競争力の強化を図るため、小区画不整形なほ場の大区画化を進めており、本年度は約4haを整備しました。

整備が完了したほ場では、茶改植補助金を活用し、新しい茶の苗を定植しています。

志太榛原農林事務所では、茶栽培の現場を知り、農業者の生の声を聴く場として、研修に位置付け、3月6日、7日の2日間の日程で農業・農業土木職の職員計5名が定植作業の支援をしました。

参加職員からは「半日で腰が立たなくなりました」との声があり、想像以上に大変な作業でしたが、実際に身体を動かし、地域の方々と交流し、農業者の営農の苦勞を知る貴重な経験となりました。



整備後（R7.1.21）



定植の様子

志太榛原農林事務所農地整備課 054-644-9234

地域盛り上げ隊の活動報告会を開催！

西部



静岡県が令和6年度より実施している「農村次世代関係人口創出事業」では、学生が農山村地域を訪れ、農作業や地域イベントに関わり、SNSで情報発信を行うことにより、若い世代を中心に農村地域について知ってもらい、若年層の関係人口増加に繋げていくことが目的です。

本事業を活用している、静岡県立農林環境専門職大学の地域盛り上げ隊が、地域住民・行政関係者に向けて活動報告会を行いました。

学生からは、年間を通した棚田での活動やSNSフォロー数等の状況について報告があったほか、次回以降の活動について、サークル活動の周知方法も一層工夫したいとの話がありました。

地域の代表者からは、事業の効果で学生が地域に来るハードルが下がるのは良いことで是非続けて欲しい、と感想をいただきました。

西部農林事務所では、地域の魅力を発信し、農山村地域の地域活性化に向けた取組を推進します。

西部農林事務所農村計画課 053-458-7225

発行／静岡県経済産業部農地局農地計画課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL:054-221-2722 FAX:054-221-2449
E-mail:noukei@pref.shizuoka.lg.jp

協力／賀茂農林事務所
富士農林事務所
志太榛原農林事務所
西部農林事務所

東部農林事務所
中部農林事務所
中遠農林事務所